

5 t ジャッキ取扱説明書

日之出水道機器株式会社

この取扱説明書は5 tジャッキについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただき、また、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

安全上の表示内容について



その危険を回避できなかった場合には、死亡または重傷を負うことが、想定されることを告げるものです。



その危険を回避できなかった場合には、軽傷を負うことが、想定されることを告げるものです。



5 t ジャッキの機能保持上、お守りいただきたい事項です。

I N D E X

1 . ジャッキ使用上の注意点	1
2 . 使用工具の名称	2
3 . 取扱い方法	3
4 . ジャッキ本体メンテナンス方法	8

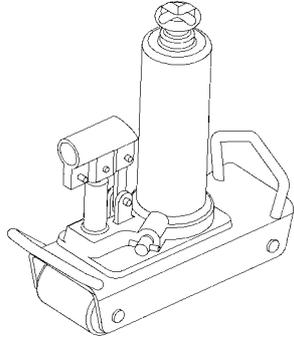
ジャッキ取扱説明書

本説明書は、長穴を有するふたをパールで開ふたすることが困難な場合に使用するジャッキの開ふた操作を説明したものです。長穴以外のパール穴を有するふたには適用できません。

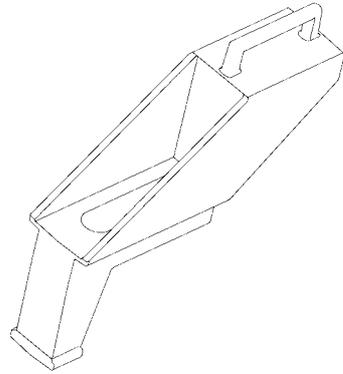
1. ジャッキ使用上の注意点

- (1) 使用前にはその都度ジャッキを点検してください。損傷したジャッキ、調子の悪いジャッキは使用しないでください。
- (2) ジャッキはなるべく平坦で堅い場所に置いてご使用ください。
- (3) 必要以上高く上げないでください。
- (4) ジャッキレバーを使用しない時はジャッキ本体から抜いてください。また、ジャッキ専用のジャッキレバー以外は使用しないでください。
- (5) ジャッキを下げる場合は1～2度上昇方向にポンプ操作を行った後、リリースバルブを1～2回転反時計回りにゆっくり回してください。この時、リリースバルブを2回転以上回転させないでください。
- (6) ジャッキ使用后、ジャッキのラムは最縮長状態にしてください。伸ばした状態で保管するとラムに傷をつける可能性があります。
- (7) ジャッキは外気温 - 20 ～ + 70 の範囲でご使用ください。
- (8) 本ジャッキは横方向にも使用できますが立てて保管してください。

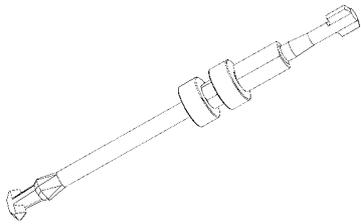
2 . 使用工具の名称



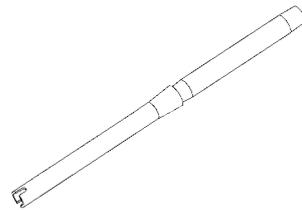
ジャッキ本体



ジャッキ用フレーム



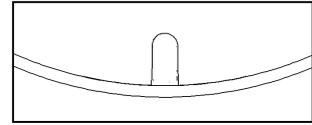
鉄ふた開キー（長穴専用）



ジャッキレバー

3 . 取扱い方法

右図のようなパール穴を有するふたの開ふたする際に、以下の操作方法で行ってください。

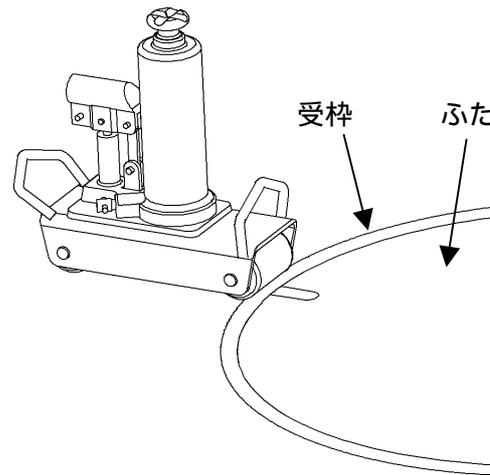


ジャッキ本体の設置

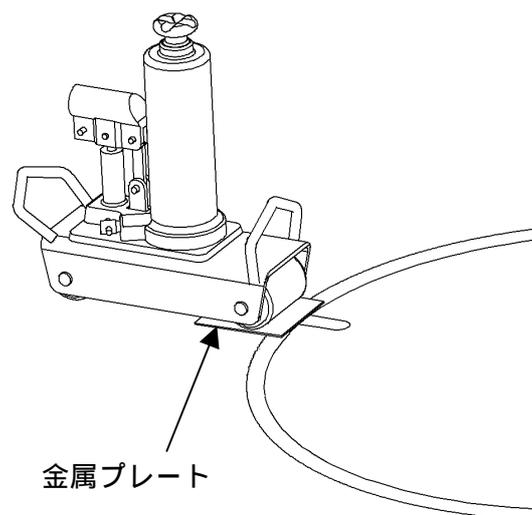
- ・受枠上面にジャッキ本体のローラが乗るように設置します。



- ・ジャッキ本体のローラが受枠より外側に外れると周辺地盤を壊してしまうことがあります、またジャッキ本体のローラがふたの上に乗ると、ジャッキやふたが壊れることがありますので注意してください。



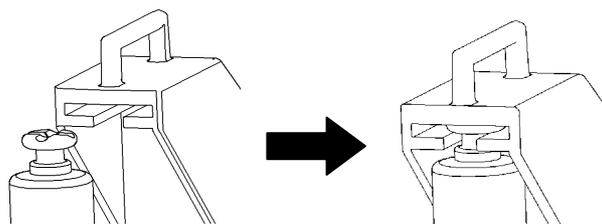
- ・ジャッキ本体のローラを受枠へ設置した時、受枠との掛かりが少ない場合は、図のように厚手の金属プレート等をふたに掛からないように受枠上面に置き、ジャッキ本体のローラがプレートに乗るように設置します。



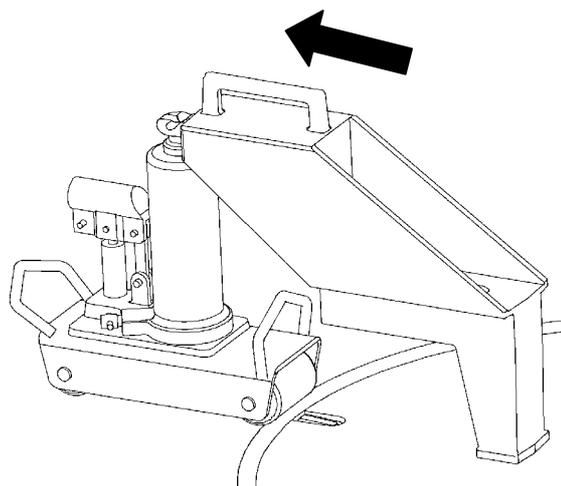
フレームの取付け

- ・ジャッキ用フレームをジャッキ本体に取付けます。

図のようにジャッキ用フレームの溝にジャッキ本体の頭部が全部入るようにはめ込んでください。



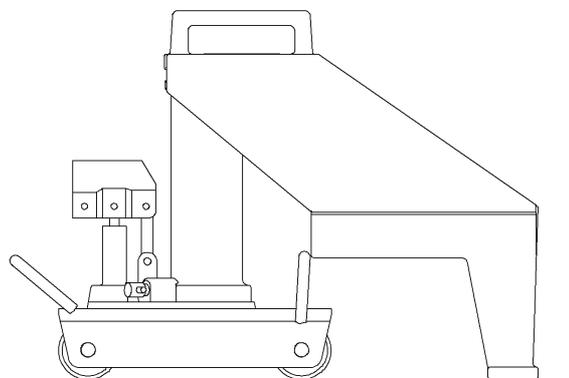
- ・ジャッキ用フレームの溝にジャッキ本体の頭部の入り込みが浅いとジャッキアップの際にフレームが外れることがあるため危険です。



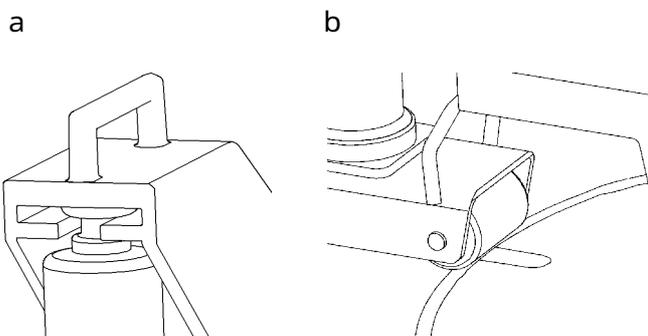
本体及びフレームの取付け状況

- ・ジャッキ本体及びジャッキ用フレームの取付けの際、以下のことを確認してください。

a . ジャッキ用フレームの溝にジャッキ本体の頭部が全部入っていること。

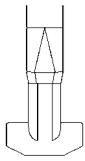


b . ジャッキ本体のローラが受枠上面に掛かり、ふた上面に掛かっていないこと。

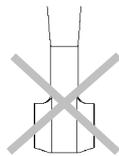


- 1 開キーの取付け

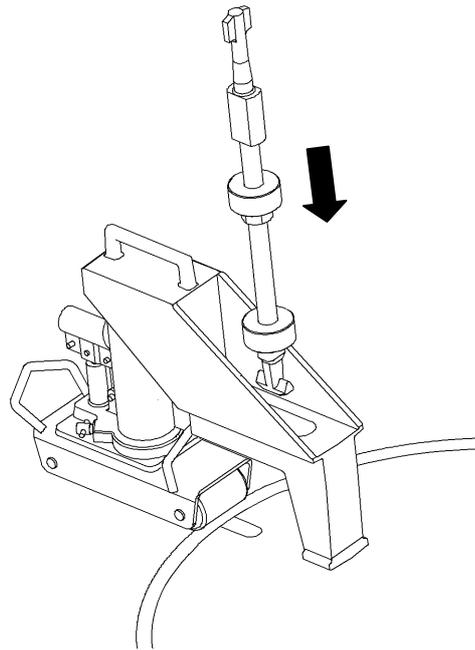
- ・ 鉄ふた開キーの先端をジャッキ用フレームの穴に通します。
- ・ 下図のように 2 種類の先端を持っていますが、A 先端を通します。



A

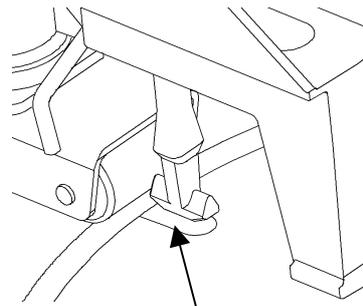


B



- 2 開キーの取付け

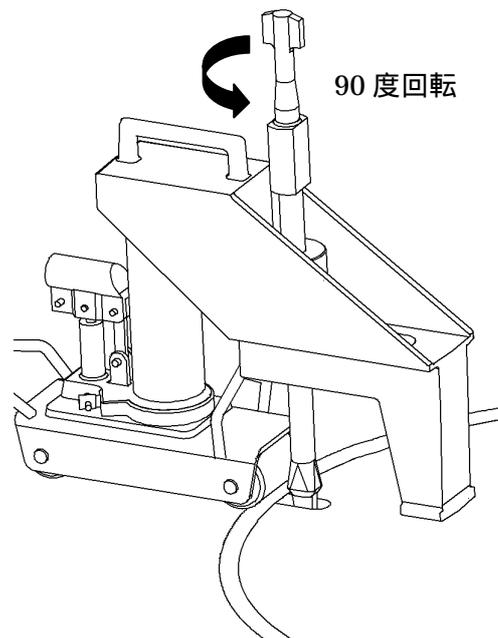
- ・ 鉄ふた開キーの先端を主パール穴に差し込みます。



主パール穴

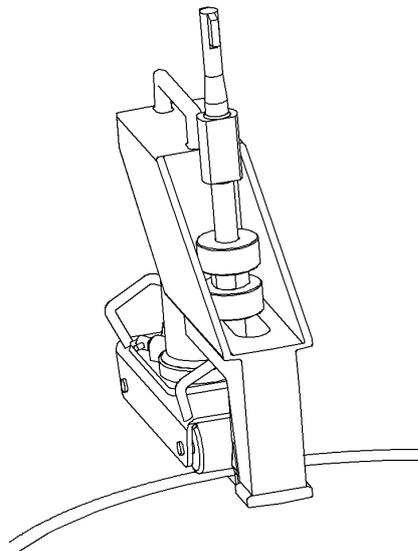
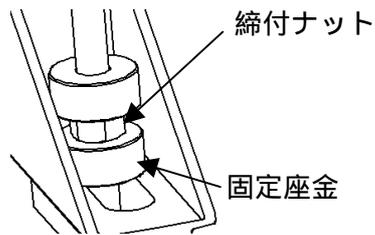
- 3 開キーの取付け

- ・ 鉄ふた開キーの先端を 90 度回転させてください。



開キーの固定

- ・ 鉄ふた開キーの先端が主バルブ穴にしっかり掛かっていることを確認し、固定座金と締付ナットで固定します。

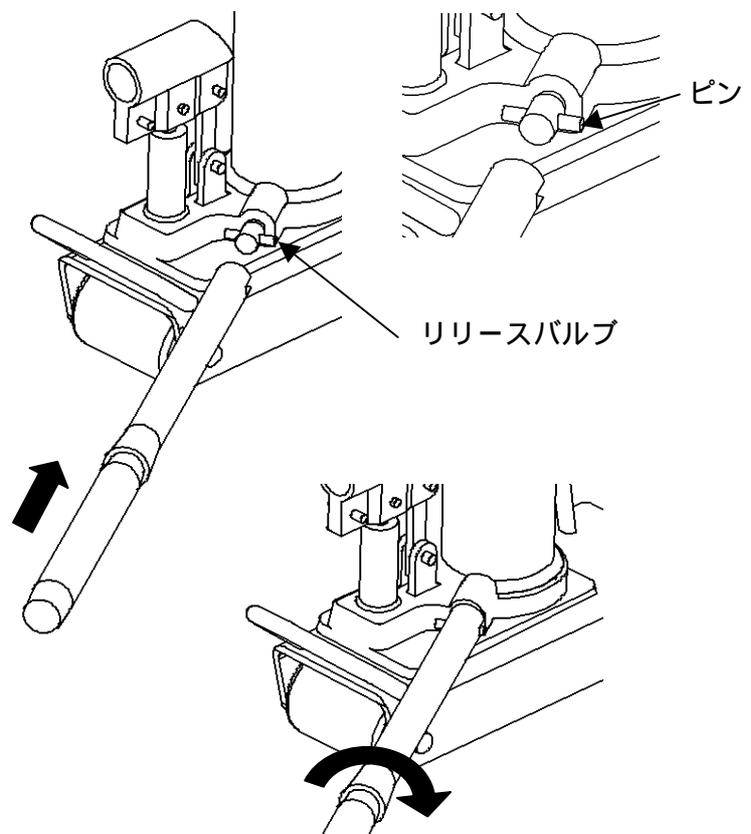


- 1 ジャッキアップ

- ・ ジャッキレバーの先端の切溝を、リリースバルブのピンに合わせて差し込んでレバーを時計回りに回し、リリースバルブを閉めてください。

お願い

- ・ ジャッキ本体のリリースバルブを確実に閉めてから油圧をかけてください。リリースバルブを閉めないでジャッキアップできません。

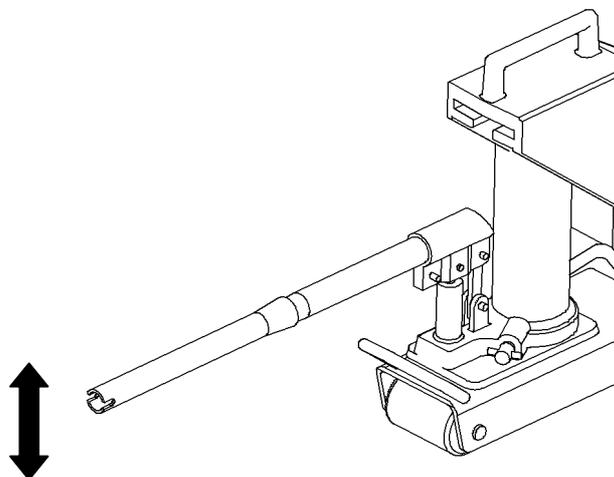


- 2 ジャッキアップ

- ・レバーを上下させてジャッキアップし、食い込みを解除してください。

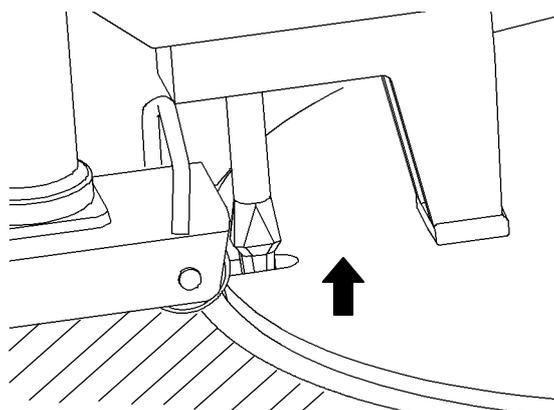


- ・ジャッキアップさせる際に、周辺地盤に亀裂が発生したり、持ち上がっていないか確認してください。もし、そのような現象が確認された場合、直ちにジャッキアップを止め、リリースバルブを反時計回りに回して油圧を解いてから作業をやり直してください。



- 3 ジャッキアップ

- ・食い込みが解け、ふたが 10mm 程度浮き上がればジャッキアップ完了です。



取付け手順の逆の要領で、鉄ふた開キー、ジャッキ用フレーム、ジャッキ本体を取外してください。

4 . ジャッキ本体メンテナンス方法

- (1) 作業が終了しましたらジャッキに付着したゴミ・オイル等をきれいに拭き取ってください。ジャッキはラム・補助ネジを最低まで下ろして所定の場所へ保管してください。
- (2) 給油する場合は下記の要領で行い、ゴミ等が混入しないよう注意してください。また、ブレーキオイル・植物性オイルは作動不良の原因となりますので絶対に使用しないでください。

ラムを最低まで押し下げてください。

空気抜栓を指で外し、指定のジャッキオイルまたは一般油圧作動油

(I S O V G 1 0 ~ 3 2) をジャッキを立てた状態で給油口まで入れてください。

給油が終わったら空気抜栓を取付け、ポンプを作動させ、ラムを最高まで伸ばし、更に5～6回ポンプ作動を繰り返してください。その後、ラムを最低まで下げ空気抜栓を横に押し空気を抜いてください。

